

学習内容報告書

学校名	静岡県沼津市立静浦小中一貫学校
授業者	岡村 将嗣

1. 単元計画

2. 単元名

沼津のじまん、再発見

2-1. 学年

4

2-2. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合

2-3. 単元の概要

「課題の設定」では、沼津港の魅力について3年時の学習を振り返る。この際、3年の時に学んだ総合の勉強の仕方（課題を自分たちで設定し、解決の方法を考え、取り組み、表現する。）を確認する。昨年、自分たちが静浦の魅力は「ひもの」だと学習した子どもたちが、他に魅力があるのか考えるところから学習を始めた。「漁港なのに、魚をどうして売っていなかったのか調べたい」という課題を持ち、漁師さんにインタビューをする計画を立てた。

「情報の収集」では、実際に漁師さんに来ていただき、静浦で獲れた魚のゆくえについて話を聞いた。その際、「沼津港」というキーワードが出てきたことから、社会科見学と抱え込みで沼津港を見学し、沼津にはひもの以外の自慢がたくさんあることに気付いた。

「整理・分析」では、パンフレットを使って、沼津の自慢をたくさん調べた。初めて聞くような言葉や場所は、インターネットを使って検索し、自分たちで伝えられる言葉にかみ砕きながら情報を収集し、観光分野、自然分野、商業分野などに整理していった。

最後の「まとめ・表現」では、得られた情報をもとに、「沼津じまんかるた」を作成した。自分たちが整理分析した情報を端的な文（読み札）と絵（取り札）で表現しながら、1年間の学習をふり返ることができていた。また、作ったかるたを使って、1～3年生とのかるた大会を行った。

2-4. 単元設定の理由・ねらい

昨年度取り扱った静浦漁港をきっかけにして、沼津港の学習を行う。沼津港について調べていくことで、多くの人が集まる理由、沼津が人気の理由など、ひもの以外の沼津の自慢に広がりを見せることを期待している。

2-5. 育みたい資質や能力、態度

<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、今まで知らなかった沼津の良さに気付く。

2-6. 単元の展開（全 25 時間）

時数	学習活動・主な内容	○教師の指導 / ☆主な評価 ・外部連携 / 使用教材等
1 ～ 1 0	<p>第1次</p> <p>○3年生の学習を振り返り、4年生の学習を見通す。</p> <p>○漁師さんに話を聞く。</p> <p>○集めた情報を整理し、もっと調べたいことをまとめる。</p>	<p>○3年の総合学習を想起させ、総合的な学習の時間の流れを確認する。</p> <p>○静浦の魚が沼津港に行っていることに興味をもたせ、KWLシートを利用し、単元を貫く学習問題を見つける。</p> <p>☆自分の知っていることと新しく知った情報から解決したい問いを作ろうとしている。</p> <p>・静浦漁港 青壮年部 沼津漁港/KWLシート</p>
1 1 ～ 1 7	<p>第2次</p> <p>○沼津港を見学する。</p> <p>○沼津には、ひもの以外の自慢がたくさんあることを知る。</p>	<p>○沼津港に行って、ひもの以外に売っているものなどにも目を向けるよう促す。</p> <p>○駐車場には、県外の車がたくさんとまっていることに気付かせる。</p> <p>☆沼津には、ひもの以外にどんな自慢があるのかという問いをもつことができる。</p> <p>・沼津港受付</p>
1 8 ～ 2 2	<p>第3次</p> <p>○ひもの以外の沼津自慢を探す。</p> <p>○集めた情報を分野ごとに整理する。</p>	<p>○沼津のパフレットを用意し、沼津の自慢について調べる。</p> <p>○得られた情報を、付箋を使ってシートに整理する。</p> <p>☆問いに対する答えを調べた事実（集めた情報）から考えようとしている。</p>
2 3 ～ 2 5	<p>第4次</p> <p>○沼津自慢かるたをつくる。</p> <p>○沼津自慢かるたを使って、1～3年生とかるた大会をする。</p>	<p>☆自分たちがなぜ沼津自慢かるたを作ったのかを理解し、1～3年生に伝えることができる。</p>

3. 学習活動の実際

3-1. 単元における位置づけ

単元 25 時間中の 19 時間目

3-2. 本時の目標

- A : 沼津には、ひもの以外にもさまざまな自慢があると捉えている。
- ・ひもの以外に、どんな自慢がありそうか出し合う。
 - ・「沼津100選」の資料を見て、沼津の自慢を探す。
- A' : 沼津には、ひもの以外にもさまざまな自慢があることを、具体的に捉え直す。

3-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	*教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>○沼津港でどんな情報を集めたかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚関係の店が多かった。 ・魚以外にも、いろいろなお店があったよ。 ・「沼津産」という言葉をたくさん見つけたよ。 ・停まっている車は、県外のナンバーが多かったよ。 ・県外からは、沼津に何を求めてくるのか気になったよ。 <p>○沼津には、ひもの以外にどんな自慢があるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みかんやお茶は自慢だよ。3年生の社会でやったよ。 ・沼津港深海水族館にも人がたくさん来るんじゃないかな。 ・富士山とか海とかもそうだと思う。 ・他には…あんまり分からないな…。 <p>◎沼津の自慢をもっとたくさん探してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひものライスバーガーがあるよ！おいしいのかな。 ・戸田地区では、タカアシガニが有名なんだね。食べてみたいな。 ・愛鷹牛って、とても高級なんだね。 ・千本浜や香貫山など、自然が有名なところもあるんだね。 ・沼津の花火大会もあるよ。 ・沼津の中でも、近くのことはいくらか知っていたけど、他の地域にもいろいろな自慢があるんだね。 <p>○次は、集めた情報を整理していこう。</p>	<p>* T 1 : グループごとに集めた情報を板書していく。その際、子どもたちに問い返しながら集めた情報を共有していく。</p> <p>* T 1 : 子どもたちがすでに持っている知識の中から沼津の自慢を挙げ、みんながよく知っているものと、知らないものに分けながら板書していく。</p> <p>* T 1 : 沼津には、自慢が100個あることを伝え、「沼津100選」の資料を配付する。</p> <p>☆「沼津100選」の資料を見て、沼津には、ひもの以外にもさまざまな自慢があることを、具体的に捉え直している。</p>

4. 今回の活動の自己評価

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、例年行っていた「沼津港でのお客さんへのインタビュー」ができなくなりました。本来であれば、沼津港にいるお客さんに沼津の良さを直に聞くことができたが、今回は資料やインターネットを活用しての学習となった。しかし、そこに至るまでの過程（静浦の魚は沼津港へ→沼津港ってどんなところ？→県外の人がたくさんいる！→沼津に何を求めてくるのかな→沼津にはどんな自慢があるのかな）を大切にしたいため、終末のかるた作りまで、子どもたちは意欲的に学習に取り組むことができていた。

5. 今後の課題

今回は、資料やインターネットを使って情報を収集したり、整理・分析をしたりしたが、やはり、自分たちの足で情報を集めるという活動は、行うことが理想的であると感じた。ここでは、他教科とのつながりが多く、各教科で学習したことを活用できる場面も多いからである。

6. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

子どもたちの身近な地域について学習していくのだが、ただの地域学習や知識だけではなく、地元の産業と関係する人たちについても迫っていきたい。また、自分たちで課題を作り、解決するという総合的な学習の時間だからできることを大切にしていきたい。

今回、子どもたちは「沼津港」を知ることで、「静浦の漁師」が獲った魚が多くの人に消費されていることを知ったが、漁師の仕事やどんな魚が獲られているのかなど地元を知る学習が抜けてしまっていたのが残念だった。身近だからこそ、知らないこと、見えていないことに気付くきっかけを地域学習で子どもたちに与えたい。

また、終末のかるた作りでは、子どもたちが学習したことを楽しみながらまとめることができるため、有効な手段であった。一方、教師側は、あくまで「まとめ」であることを認識し、かるたにすれば何でもよいという捉えにならないよう留意する必要があると感じた。

